

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成 2 8 年度 第 1 回入間市総合教育会議
開 催 日 時	平成 2 8 年 6 月 2 1 日 (火) 午後 1 時 3 0 分 開会、午後 3 時 4 5 分 閉会
開 催 場 所	教育研究所 会議室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	田中龍夫、西澤泰男、河村佳樹、青山友子、橋本清美、高山茂
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	企画部参事 鳥山政之、教育長 西澤泰男、教育総務部長 齋藤光明 教育総務課長 齋木茂男
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1 . 開 会 2 . 挨 拶 3 . 報告事項 (1) 平成 2 9 年度版実施計画の策定について (2) 教育振興基本計画の策定状況について 4 . 協議・調整事項 (1) 教育施策の方向性について (2) あずま幼稚園の運営について (3) その他 5 . その他 6 . 閉 会
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	資料1：平成29年度版実施計画策定における基本方向 資料2：縦1系統でのトイレ改修に要する概算額（予定） 資料3：あずま幼稚園の今後のあり方について
関係者職氏名	教育総務部長 齋藤光明、教育総務課長 齋木茂男 教育総務部参事兼学校教育課長 早川等、教育総務課主幹 鹿山泰隆 生涯学習部長 長谷川芳明、生涯学習部次長 新見輝明
事務局職員職氏名	企画部参事 鳥山政之、企画課主幹 宮澤昌樹、企画課主事 齊藤正文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

< 報 告 事 項 >

- 1 平成29年度版実施計画の策定について
- 2 教育振興基本計画の策定状況について

< 協 議 ・ 調 整 事 項 >

- 1 教育施策の方向性について
A E Tの増員、給食食器の入替え、トイレ改修の必要性について協議し、今後の研究課題とした。
- 2 あずま幼稚園の運営について
平成30年度をもって閉園とすることはやむを得ないが、地域住民や保護者の想いを十分に聞き、慎重に対応することとした。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>< 進行 : 鳥山参事 ></p> <p>1 . 開会</p> <p>2 . 挨拶</p> <p>3 . 報告事項</p>
鳥山参事	<p>(1) 平成 2 9 年度版実施計画の策定について</p> <p>まず 1 点目の「平成 2 9 年度版実施計画の策定」について、担当者に代わって私から説明させていただきます。</p>
鳥山参事	<p>(「資料 1 平成 2 9 年度版実施計画策定における基本方向」について説明)</p>
青山委員	<p>3 (4) に歳入の確保策が示される事業を優先する、とありますが、具体的にはどのようなことですか。</p>
鳥山参事	<p>国や県からの交付金や補助金は積極的に活用して欲しいと考えています。各所管において、歳出については目が行き届いていますが、一方で、歳入について、国や県の交付金や補助金を使うということには目が行き届いていないというのが現状です。企画課だけでは把握しきれない補助制度等もあるので、各所管で様々な制度を活用していただきたいという意図で記載しました。</p> <p>また、投資的な事業については借入制度がありますので、これについても可能であれば活用していただきたいと考えております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
教育長	<p>身近な例としては、放課後子ども教室は国からの補助金を利用しています。校舎の耐震などについても、一部国からの補助を受けています。このように、探せば様々な制度があります。</p>
田中市長	<p>補助を受けるには手間もかかりますが、大きな金額になる場合もあるので、面倒だと思わず制度を利用すべきだと考えます。</p>
鳥山参事	<p>(2) 教育振興基本計画の策定状況について それでは2点目の「教育振興基本計画の策定状況」について、齋木 教育総務課長から説明をお願いします。</p>
齋木課長	<p>資料はありませんので口頭で説明いたします。</p> <p>教育基本法第17条の規定では、地方公共団体の教育振興基本計画は、国の教育振興基本計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育に振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされています。</p> <p>入間市教育振興基本計画については、現在の計画は、平成24年度から平成28年度までとなっています。このため、平成29年度以降の新たな計画を策定しなければなりません。</p> <p>なお、策定にあたっては、現在策定中の次期総合計画との整合性を図るとともに、次期計画が引き続き、教育に関する大綱に代えるべきものと位置付けられるように策定していきたいと考えます。</p> <p>この教育振興基本計画の策定にあたっては、策定委員会及びその活動を補助する策定作業部会を組織しています。</p> <p>策定委員会は、教育委員会事務局の次長職、課長職で組織し、基本的事項を確認し、本計画を策定するもので、策定作業部会は、次期総合計画策</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山参事	<p>定PTのリーダー及びメンバーで組織し、当該計画の調査、研究等を行い、原案を作成するものです。</p> <p>現在の策定状況ですが、各課にて策定作業を進めており、今後、計画策定委員会にて内容を調整・整理し、次回の会議には、素案をお示しし、教育に関する大綱に該当するものと位置付けられるかの資料とさせていただきます。</p> <p>説明にありましたように、本市では、総合振興計画後期基本計画との整合が図られていたことから、教育振興基本計画を教育大綱に代えることとしております。今後も教育振興基本計画を教育大綱に代えるものとしていくについては、次回以降協議していただくことになるかと思えます。</p> <p>ただいまの説明について、何かございますか。</p>
高山委員	<p>これまでの5年間の計画と比較して大きく変わる部分、あるいは、重点とする部分はありますか。</p>
齋木課長	<p>各課において策定しているところですので、各課からの原稿があがってくるまでは確かなことは申し上げられませんが、市の総合計画との整合性を図りながら策定することとしています。</p>
高山委員	<p>例えば、市長が子育て支援について明確に打ち出しています。そのようなことが教育振興基本計画に反映されるなどの方針はあるのですか。</p>
齋木課長	<p>基本となる柱は既に作っております。その中に「子ども子育て支援の充実」という項目があります。さらにその中に、幼児教育の環境整備を掲げており、それに関連する事業を実施していきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>次回の総合教育会議では大枠が示されるのですか。</p>
齋木課長	<p>はい。そのように作業を進めております。</p>
田中市長	<p>法律改正により、市長が教育大綱を作ることになりました。入間市では、総合振興計画に盛り込まれている教育に関する部分を大綱とするということが、この総合教育会議で決まり、議会にも説明されています。</p> <p>私は、教育振興基本計画の骨子がある程度できており、それを総合計画に反映しているものと考えておりましたが、その作業が前後しているようです。</p> <p>いずれにしても、総合計画と教育振興基本計画は整合が図られている必要があると考えます。</p>
鳥山参事	<p>教育振興基本計画は総合計画の範囲内で定め、総合戦略の内容も加味していくという説明でした。また、次回の総合教育会議では、可能であれば素案を提示するというものであります。</p> <p>それでは、報告事項は以上とさせていただきます。</p>
鳥山参事	<p>4．協議・調整事項</p> <p>(1) 教育施策の方向性について</p> <p>次に、4．協議・調整事項です。(1) 教育施策の方向性について、教育委員会から説明をお願いします。</p>
西澤教育長	<p>限られた予算の中でどのように事業展開していくか、ということについてです。</p> <p>ここ数年で、校舎や体育館の耐震化を行うことができました。また、平成22年からの子ども未来室事業では、臨床心理士、作業療法士等が巡回</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>支援を行い、子どもたちの問題を早期発見し、就学前の療育を行っています。小中学校では、普段は普通学級ですが、うまく読み書きができないなどの障害を持った生徒に対し、週に1～2時間程度専門家が個人指導行っています。これらの事業の実施には、かなりの人件費等が必要となり、市にバックアップしていただいています。</p> <p>来年度以降は、エアコンの全校設置に向けて動き始めます。そのために、その他の学習環境で不便をきたしている部分もあります。</p> <p>子どもたちの学習環境を更に改善していくにあたっては、トイレ改修の問題、英語指導助手（AET）の増員の問題、給食食器の入替の問題などがあります。これらに取り組むことで、人間市未来事業を補完、後押しをしていくものと考えております。</p> <p>AETについては、中学校11校に11人配置されています。このAETが週に1日程度小学校にも出向いています。国の方針として、英語を小学校3、4年生からの教科にするという動きがありますが、現在のように中学校のAETが、片手間に小学校にも行くというような体制では、計画的な取り組みができません。そこで、AETを何人が増員していただき、小学校選任として配置できればと考えております。</p> <p>給食食器については、アルミ製を磁器製に変えることを試みましたが、年間で3割も破損してしまう、重い、などの問題があり、昨年からはペン食器の導入を始めています。現在3つの小学校で導入しましたが、できるだけ早く、16校全校で導入したいと考えております。</p> <p>次に、トイレの整備についてですが、和式トイレの50%を洋式に変えることを目標としておりましたが、限られた予算の中では、年間2～3個の、壊れて交換が必要になった和式トイレを洋式に変えることしかできておらず、30%程度にとどまっています。</p> <p>しかし、和式であることだけではなく、暗い、汚い、臭いなどの問題もあります。そのうち、臭いの原因の1つは、配管が古いことです。ただ便</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>器を取り替えても臭いは残ってしまいます。各学校には少なくとも2系統のトイレ配管がありますが、縦系統の単位で改修しなければ、臭い等の問題は解決できないと思われます。そこで、少なくとも1校につき1系統は改修するために、実施計画に挙げ、予算化をお願いしたところです。昨年も実施計画は通りましたが、予算化の段階で棄却され、現在に至っております。</p> <p>縦系列で改修することで、洋式化、乾式化も併せて進めることができ、衛生面の問題が解決できるものと考えております。</p> <p>資料2は、年に2～3校ずつ改修し、各学校1系統の改修を10年で完了させる計画です。裏面は、各学校の現在の改修状況です。</p> <p>これまでも、教育環境の改善にご協力いただきましたので、今後もトイレの改修を進めさせていただければと思います。</p>
鳥山参事	<p>ただいま教育長から説明があったことに加えて、教育委員の皆様からは何かございますか。</p>
高山委員	<p>本市の教育の最大の課題は学力の向上です。入間市の学力は低いという声がありました。入間市の学力が低ければ、そこに住みたい人も減ってしまい、人口減につながります。学力を上げることが入間市の未来を作る上で非常に重要なので、先生方の指導力の向上、先生方の多すぎる業務を軽減し、授業に専念できるような環境を作る、あるいは、AETをはじめ、個別指導に当たる先生を増やす等の人的な措置など、子どもたちの学力を向上させるためにはどうすれば良いのかということの本気で考えるべきだと思います。</p>
河村委員	<p>先日、宮寺小学校の春季運動会に参加した際、体育館のトイレを利用しましたが、そこは男女共用トイレでした。学校行事以外にも、地域行事や</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>避難所としても使われる施設が男女共用というのはこの時代にそぐわないと思います。お金をなるべくかけない方法で、男女別にした方が良いと思います。</p>
鳥山参事	<p>これらの意見に対し、市長から何かございますか。</p>
田中市長	<p>学力を上げることは大変重要だと考えています。このことについて、教育振興基本計画には盛り込むべきだと思います。</p> <p>以前の調査で、市のボランティアに参加したいか、街の事に関心はあるか、といった地域に対する想いが、人間市は他市と比較して低いことがわかっています。想いも学力も低いというのは問題であると感じました。そういったことに対する目標を作って進めていって欲しいと思います。</p> <p>次に AET の件ですが、AET ではなくても現在の英語の先生は英会話が堪能であるものと思っているのですが実際はどうですか。また、小学校で英語が教科化されるのであれば、県が先生についての予算化をしていただけないものなのですか。</p>
高山委員	<p>小学校に英語の先生はいませんので、AET の授業は効果的です。</p>
早川参事	<p>英語の小学校での教科化における財政措置等については、まだ文科省から明確な発表が出ていない状況です。</p>
田中市長	<p>例えば、民間企業で外国に勤務していた方などで、英語が堪能な方がたくさんいます。予算化されるまでは、そういった方の活用も検討しなければならないかもしれないと思います。</p> <p>また、学校の統廃合についても進めていかなければならないと感じています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>学校の規模の適正化は、子どもの資質を伸ばすことにも関係してくると思います。</p>
田中市長	<p>何に対しても安全・安心を取り入れ、すべての環境を整った状況で、子どもたちが自ら学習したいと思えるかどうかは疑問です。ある程度ハードルを与え、自分たちで考え、工夫するといった教育も必要です。例えばエアコンについては、使用する期間はあまり長くないので、暑いところで勉強するという経験をさせても良いのではないかという考えから、設置しなかった経緯があります。</p>
西澤教育長	<p>その件に関しては気候の変動も大きな要因となっています。</p>
田中市長	<p>公共施設マネジメント計画の中で、学童保育室は校舎の中に入れると明記してありますが、どこかの教室を使うなど、何らかの知恵を使って欲しいと思います。そこで浮いた資金がトイレ改修などにも使えるわけです。</p>
青山委員	<p>学校の統廃合の基準はある程度できているはずですので、統廃合の対象校以外のトイレ改修は早急に始めるべきだと思います。</p>
田中市長	<p>ただし、その学校が地域の拠点になっているなど、その他の要素も総合的に判断して進めなければなりません。</p> <p>もう一点意見があります。AET の関係ですが、人間市で教育を受ければ皆英語が話せるようになるとなれば、大きな売りになると思います。そのために、先ほど言ったような市民を活用するなどの工夫をし、効果等を十分検討したうえで、どうしても予算が必要であるという説明があれば、予算化せざるを得なくなると思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山参事	<p>(2) あずま幼稚園の運営について</p> <p>それでは続いて、4(2) あずま幼稚園の運営について、齊藤教育総務部長から説明をお願いします。</p>
齋藤部長	<p>あずま幼稚園の関係については、平成27年12月の定例教育委員会で協議し、平成28年5月の定例教育委員会でも内容の説明をしました。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第21条に、学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関することが、教育委員会の職務権限として規定されています。ただし、設置、管理及び廃止する場合は議会での議決が必要です。議会に議案を提案できるのは市長の権限となっているため、教育委員会の職務権限ではありますが、議案の提案は市長から行う、という関係があります。</p> <p>このような場合、総合教育会議で協議することと、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められていることから、今回、改めてあずま幼稚園についてご協議いただくということでもあります。</p> <p>それでは資料をご覧ください。</p> <p>(資料3「あずま幼稚園の今後のあり方について」「あずま幼稚園運営の検討経緯」「あずま幼稚園運営に関する報告書」について説明)</p> <p>続いて、「あずま幼稚園に係る今後の予定」について申し上げます。</p> <p>本日の総合教育会議の後、市議会6月定例会閉会日に全員協議会で、本日の説明とほぼ同様な形で、あずま幼稚園の今後について、市の考えを説明する予定です。</p> <p>全員協議会の後は、関係者や、保護者、地域の方、といった方々に説明していきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>そうした中で、あずま幼稚園は、平成 31 年 3 月 31 日をもって閉園を予定していること、またこのことに関する条例の改正案を 9 月議会で提案する予定であることなどのご理解を得ていく考えであります。</p> <p>昨日、あずま幼稚園を訪問し、園長先生にお話をうかがったところ、現在通っている園児の弟や妹もあずま幼稚園に通わせたいという保護者の声もあるようです。また、公立幼稚園ですので、障害のある子の受け入れも実施しております。このようなことも考慮しながら、この問題に取り組まなければならないと感じています。</p> <p>ちなみに、埼玉県の 40 市の内、公立幼稚園がある市は 14 市、無い市は 26 市であります。公立幼稚園がない市でも、障害のある子の受け入れ態勢があるものと思われるので、そういった部分も研究する必要があると思います。</p>
鳥山参事	<p>教育長から、ただいまの説明について何か補足等ございますか。</p>
西澤教育長	<p>幼稚園の閉園にあたっては、通っている親子、先生、地域住民等に多大な影響が生じるため、それらの方々の話を十分に聞き、慎重に扱わなければならないと思います。</p>
鳥山参事	<p>この件について、何か質疑等ございますか。</p>
田中市長	<p>各幼稚園に障害のある子は何人いますか。</p>
齋木課長	<p>あずま幼稚園で障害があると思われる児童は 15 人です。その他の私立幼稚園については把握していません。</p>
田中市長	<p>私立幼稚園については調べておいてください。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>また、現在通っている園児の弟や妹で入園したいと思っている児童は何人いますか。</p>
齋藤部長	<p>確認しておきます。</p>
青山委員	<p>あずま幼稚園の閉園はやむをえないとは思いますが、この幼稚園に思い入れのある方々の想いも組みながら説明していただきたいと思ひます。</p>
高山委員	<p>障害のある子どもたちが、あずま幼稚園以外でも問題なく受け入れられるのかという懸念があります。また、費用面で私立と公立の差が小さくなっているのは分かりますが、私立の場合、この資料に現れない部分でかかる費用もあるのではないかと思います。そのような面で差が出ないかということも気になっています。</p>
齋藤部長	<p>障害のある子の私立幼稚園の受け入れについてですが、子ども未来室ではすべての幼稚園との連携をとっており、就園前に相談することができますので、受け入れる体制はあると考えております。また、障害のある子を受け入れた場合は、県から教職員の加算があるということです。</p> <p>次に費用についてですが、付加サービスについては負担が生じる部分もあるかと思ひます。例えば、バスで通園している子については、保護者が協力金を負担しているとのこととす。</p>
田中市長	<p>あずま幼稚園には非課税世帯の子どもは何人いますか。</p>
齋藤部長	<p>現在、現況調査をしているところとすので、確認させていただきます。</p>
河村委員	<p>閉園の理由に、保護者は特色ある園を選択しているとありますが、私立</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>幼稚園の企業努力は計り知れません。そのような中、あずま幼稚園の園長が退職校長（囑託）で良いのだろうかと以前から感じていました。</p> <p>私立でも退職校長が園長になる例はかなりあります。教諭や保育士の指導をするうえでは、校長の経験を活かすことができ、むしろ経験が少ない人より良いとも考えられます。</p>
河村委員	<p>民間の場合は、退職校長が園長になっていたとしても、理事長などが相当なノウハウを持っており、園長に強い指示を出しています。そのような面で、市立との差が大きく、保護者が民間を選ぶことにつながっているのではと感じました。</p>
西澤教育長	<p>幼稚園には幼稚園の教育課程があります。それにのっとった教育を行っているわけですので、創意工夫の有る、無しは別として、必要な教育を行っていないということはまずありません。</p>
高山委員	<p>私立幼稚園には市外等からも通っている園児がいるのですか。</p>
齋藤部長	<p>人間市の子どもは30程度の幼稚園に通っているというデータがあります。つまり、市内10の幼稚園の他に、市外20の幼稚園に通っている子がいるということであり、非常に広い選択肢の中から選んでいるという状況です。</p>
青山委員	<p>ママ友の間でのクチコミによって知り、自分の子どもに合った幼稚園に通わせるというケースも多々あるようです。</p>
西澤教育長	<p>あずま幼稚園の近隣地域の子どもの25%程度しかあずま幼稚園には入</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山参事	<p>園していないというデータがあります。それ以外の75%は他の地域の幼稚園に行っているということです。</p> <p>制服が良い、水泳指導がある、AETがいるなど、保護者のニーズがかなり広がっています。ですから、園庭が狭く、クーラーも無い、また、耐震化もできないような状況で、教育方法を少し変えたからといって、あずま幼稚園を選ぶ要因になるとはあまり考えられないと思います。</p> <p>この件については、教育委員会で既に何度か調整が図られているということですが、今お話いただいたご意見、課題等は改めて認識し、今後の説明や住民への配慮について、市長部局、教育委員会双方で検討していくこととします。</p>
鳥山参事	<p>(3)その他</p> <p>次に、「4(3)その他」ですが、何かございますか。</p>
青山委員	<p>ヘルメットの着用についてですが、扇小学校等に比べ、西武小学校は着用率が低いと感じていました。そこで、ヘルメット購入の補助等、着用率を上げるための方策についてご検討いただけませんか。</p>
田中市長	<p>ヘルメット着用を義務づけるような条例制定等を行うとすれば、その際には何らかの方策を検討しなければならないかもしれません。</p>
西澤教育長	<p>学校だよりや、保護者が集まる場面では、必ずヘルメットを着用させるよう伝えているのですが、なかなか浸透していない状況です。</p>
鳥山参事	<p>この件については、検討課題とさせていただければと思います。</p> <p>それでは、協議についてはこれで終了とさせていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山参事	<p>5. その他</p> <p>最後に「5. その他」ということで、今後の予定をお知らせします。次回の総合教育会議は8～9月に設定させていただきます。その後、予算編成前の11～12月にかけて第3回、新年度予算の編成が終了する頃第4回を開催したいと思います。</p>
鳥山参事	<p>6. 閉会</p> <p>以上で、第1回総合教育会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成28年 8月17日</p> <p>市長の署名 <u>田中 龍夫</u></p> <p>教育長の署名 <u>西澤 泰男</u></p>	